

国連寄付金によるプロジェクト活用状況

全国から寄せられた募金は、国連の薬物犯罪事務所を通じて、開発途上国を中心に延べ649ヶ国における薬物乱用防止教育や指導者養成などの支援プロジェクトに活用されています。

▶ 支援プロジェクトの例



インド：サッカーを取り入れた薬物乱用防止活動



ナイジェリア：カドゥナの学校の13～15歳の少女を対象としたライフスキルトレーニング

国連のイベントで「ダメ。ゼッタイ。」をアピール



「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金が30周年を迎え、3月にウィーンで開催された国連麻薬委員会のサイドイベントに広島市の若者とともに参加。日本から世界へ「Dame.Zettai.」「Never Ever」「Value yourself」と、薬物乱用防止運動の重要性を訴えました。

募金は「郵便局（ゆうちょ銀行）」で受け付けています！

振込先 00140-8-612164

「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金



パソコン・スマホからは「Yahoo!ネット募金」がご利用いただけます。

yahoo! 募金 検索

https://donation.yahoo.co.jp



薬物についての相談窓口

北海道厚生局麻薬取締部	011-726-1000
東北厚生局麻薬取締部	022-227-5700
関東信越厚生局麻薬取締部	03-3512-8690
関東信越厚生局麻薬取締部横浜分室	045-201-0770
東海北陸厚生局麻薬取締部	052-961-7000
近畿厚生局麻薬取締部	06-6949-3779
近畿厚生局麻薬取締部神戸分室	078-391-0487
中国四国厚生局麻薬取締部	082-228-8974
四国厚生局麻薬取締部	087-823-8800
九州厚生局麻薬取締部	092-431-0999
九州厚生局麻薬取締部小倉分室	093-591-3561
九州厚生局沖縄麻薬取締支所	098-854-0999

他にも、全国の子供発達センター、保健所、警察署などでも相談を受け付けています。

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施機関

国際連合(国連薬物犯罪事務所)、警察庁、こども家庭庁、総務省、法務省、最高検察庁、外務省、財務省税関、文部科学省、経済産業省、国土交通省、海上保安庁、海上保安協会、ガールスカウト日本連盟、国際ロータリーゾーン1A、2&3、国際フレイトフォワードーズ協会、日工組社会安全研究財団、全国高等学校PTA連合会、全国子ども会連合会、全国社会福祉協議会、全国人権擁護委員連合会、全国少年警察ボランティア協会、全国生活衛生同業組合中央会、全国配薬業協会、全国防犯協会連合会、全国保護司連盟、全日本医薬品登録販売者協会、日本医師会、日本一般用医薬品連合会、日本医薬品卸売業連合会、日本医療機器産業連合会、日本学校歯科医会、日本学校保健会、日本カラオケボックス協会連合会、日本勤労青少年団体協議会、日本化粧品工業連合会、日本更生保護女性連盟、日本歯科医師会、日本自動車整備振興会連合会、日本新聞協会、日本相撲協会、日本青年会議所、日本製薬団体連合会、日本塗料商業組合、日本PTA全国協議会、日本BBS連盟、日本プロサッカーリーグ、NHK、日本民営鉄道協会、日本民間放送連盟、日本野球機構、日本薬剤師会、日本ライオンズ、日本ラグビーフットボール協会、日本YMCA同盟、ボーイスカウト日本連盟

◎薬物乱用問題について詳しくは「厚生労働省」ホームページをご覧ください。

厚生労働省 薬物乱用 検索



◎薬物乱用防止活動について詳しくは「麻薬・覚せい剤乱用防止センター」ホームページをご覧ください。

ダメ。ゼッタイ。 検索



募金運動にご協賛いただける団体等がございましたら、ご連絡ください。

Drug Abuse Prevention Center 公益財団法人
dapc 麻薬・覚せい剤乱用防止センター 03-5544-8436

本冊子は、グリーン購入法の基準を満たす紙を使用しています。リサイクル適正の表示：紙へのリサイクル可。

ダメ。ゼッタイ。普及運動



薬物にNo!と言える勇気を



日本発のプロダンスリーグ「D.LEAGUE」はダンスを通じて健康的な未来を築いていくため「薬物撲滅運動」を宣言しています。

6・26 国際麻薬乱用撲滅デー

The International Day Against Drug Abuse and Illicit Trafficking

国連支援募金

厚生労働省/都道府県/(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター

薬物でお困りの方は一人で悩まず相談を！ 厚生労働省 薬物 相談 検索

薬物乱用はダメ。ゼッタイ。



「ダメ。ゼッタイ。」普及運動とは



薬物乱用が日本国内でも深刻な社会問題となるなか、薬物乱用を許さない社会環境を目指して、1993年に官民一体となってスタートした「ダメ。ゼッタイ。」普及運動。国連が定めた「6.26国際麻薬乱用撲滅デー」を周知させると共に、様々な分野の団体と連携しながら、全国各地で街頭キャンペーンなどの啓発活動を行っています。

6.26 街頭キャンペーン



静岡県



鹿児島県

国連支援募金にご協力ください。

「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金運動は、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動と呼び、薬物乱用を許さない社会環境づくりのために実施されています。



2022年度募金総額
24,677,981円

薬物乱用とは？

- 薬物乱用とは、ルールや法律から外れた目的や方法で使用することをいいます。
- 大麻、覚醒剤や麻薬などの薬物は、誰かに渡したり、持っているだけでも法律によって厳しく罰せられます。
- 危険のない薬物など、ゼツタイにありません。

いま、大麻での検挙者が増えています！



SNSなどで「大麻は害がない」などのニセの情報が広まっています。こうしたウワサを信じて大麻に手を出し、検挙される人が急増しています。

！新しいタイプの加工品

大麻から幻覚成分を抽出・濃縮した加工品が摘発されています。



！大麻を含んだ食品にも気をつけて

海外旅行のお土産として買ったりもらったものでも違法です。



医薬品も間違った使い方は乱用です！



医師から処方された薬や市販薬を用法・用量を守らずに過量に摂取することは、健康被害を引き起こしたり、やめられなくなったりするおそれがあります。また、処方された薬を他人に譲ることや、偽造品などのリスクが高い海外で販売されている医薬品を安易に個人輸入することは、避けましょう。

過量服薬は健康被害を引き起こすなど大変危険です！

薬物依存とは？

薬物の乱用を続けていると、やめようと思ってもやめられない「依存」状態になります。



薬物の影響はこんなところにも…

健康被害 ・脳の障害 ・身体へのダメージ		幻覚/人格変化
交通事故	社会的不適応	反社会的行動/家庭崩壊

誘われても強い気持ちで「ダメ。ゼツタイ。」

もしも誘われたら…

そういうのはやらない！

はっきり断る

用事があるから…

その場を離れる

ひとりで悩まず相談を！

薬物依存について、専門家が守秘義務に配慮して相談を受けている窓口があります。詳しくは「依存症対策全国センター」ポータルサイトをご覧ください。